

事務事業評価一覧(課別)

令和7年度

建設部建設施設管理課					(単位:千円)
事務事業名	計:	決算額	改善方向性		シートNo.
		1,066,269	コスト	成果	
2053 市道・橋梁台帳整備事業		8,107	→	→	232-01
2060 地方改善施設整備事業		10,200	→	→	232-02
2061 道路維持改良事業		25,813	→	→	232-03
2062 道路維持管理事業		338,797	→	→	232-04
2063 橋梁長寿命化修繕事業		264,498	→	→	232-05
2064 道路アダプト制度事業		3,473	→	→	232-06
2065 道路施設防災安全対策事業		150,000	→	→	232-07
2095 公園管理事務事業		28,281	→	→	231-01
2096 都市公園管理事業		54,604	→	→	231-02
2097 城山公園管理事業		25,825	→	→	231-03
2098 丸岡公園管理事業		23,945	→	→	231-04
2099 公園改修事業		132,726	↑	↑	231-05

1. 基本情報								
事務事業名		2053 ー 市道・橋梁台帳整備事業						
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		所属		建設施設管理課		
施策名		3. 快適生活の基盤づくりの推進						
基本事業名		2. 道路ネットワークの構築と道路施設の維持		予 算 科 目		会計	01 一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)		①市内の渋滞解消のため、国・県道整備に関する要望活動を行うほか、バイパス道路や地域拠点施設間のアクセス道路の整備を推進し、道路ネットワークの構築を図ります。 ②橋梁・トンネル等の個別施設ごとに策定する長寿命化計画等に基づき、予防保全対策や補修等を計画的に実施します。				款	08 土木費	
						項	01 土木管理費	
						目	01 土木総務費	
				事業期間		平成17年度～		
基本事業の対象・意図		対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		道路法、道路法施行規則
		①②国・県・市道の利用者		①円滑に移動できる ②安全に通行できる		関連計画		特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
市が管理する道路(市道)や橋梁の台帳を整備し、認定・廃止・改良に合わせて、台帳の補正を行う。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	市道(認定分)	市道延長		1,638	1,643	1,643	1,648
イ	橋梁	橋梁数		658	658	658	658
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	情報が適切に管理できる	道路台帳の整備率		100	100	100	100
イ	情報が適切に管理できる	橋梁台帳の整備率		100	100	100	100
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		7,843	8,107	9,426	補正データ作成測量業務委託 4.58km(34路線、34箇所) 道路・橋梁台帳補正 4.58km(34路線)
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	道路・橋梁台帳の整合性を保つため、道路改良等の工事が完了し、道路情報に変更が生じた路線について区域決定・供用開始等の告示を行い台帳補正を行った。 道路・橋梁台帳を整備することにより、市道の整備や維持管理業務の効率化と市道に係る許認可申請審査業務に対する利便性・迅速性が向上するとともに、地方交付税の算定基礎となる道路数値を把握することができた。
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	7,843	8,107	9,426	

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名 2060 ー 地方改善施設整備事業							
政策名 2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)				所属 建設施設管理課			
施策名 3. 快適生活の基盤づくりの推進							
基本事業名 2. 道路ネットワークの構築と道路施設の維持				予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①市内の渋滞解消のため、国・県道整備に関する要望活動を行うほか、バイパス道路や地域拠点施設間のアクセス道路の整備を推進し、道路ネットワークの構築を図ります。 ②橋梁・トンネル等の個別施設ごとに策定する長寿命化計画等に基づき、予防保全対策や補修等を計画的に実施します。			算 科 目	款	08	土木費
					項	02	道路橋梁費
					目	01	道路橋梁維持費
					事業期間 平成3年度～平成9年度		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		厚生労働省発支援0825第5号 厚生労働事務次官通知(地方改善施設整備費の国庫補助について)
	①②国・県・市道の利用者		①円滑に移動できる ②安全に通行できる		関連計画 特になし		

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
霧島市の市道・生活道路の狭小道路及び排水路等における、市民からの改修要望に対して、改善のための工事を行う事業。(交付金)							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	市道利用者及び周辺住民	人口	人	121,379	122,830	122,441	122,771
イ	霧島市内の市道	市内の市道延長	km	1,638	1,643	1,643	1,648
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	安全に通行できる	対応率(改修済延長/改修計画延長)	%	49	66	66	88
イ	良好な状態に保たれる	対応率(改修済延長/改修計画延長)	%	49	66	66	88
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果		
事業費(千円)		4,886	10,200	10,200	令和7年度は側溝布設替えL=120mを行ない、排水路施設の改善を図った。		
財源内訳	国庫支出金	0	5,100	5,100			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	0	5,000	0			
	一般財源	4,886	100	5,100			

5. 振返り<SEE (check) >			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN) >			
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報							
事務事業名		2061 ー 道路維持改良事業					
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		所属		建設施設管理課	
施策名		3. 快適生活の基盤づくりの推進					
基本事業名		2. 道路ネットワークの構築と道路施設の維持		予 算 科 目		01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)		①市内の渋滞解消のため、国・県道整備に関する要望活動を行うほか、バイパス道路や地域拠点施設間のアクセス道路の整備を推進し、道路ネットワークの構築を図ります。 ②橋梁・トンネル等の個別施設ごとに策定する長寿命化計画等に基づき、予防保全対策や補修等を計画的に実施します。				08	土木費
						02	道路橋梁費
						01	道路橋梁維持費
				事業期間			
基本事業の対象・意図		対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	
		①②国・県・市道の利用者		①円滑に移動できる ②安全に通行できる		特になし	
				関連計画		特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
霧島市全域の市道の維持補修のため、補修工事を行う事業。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア 市道利用者及び周辺住民	人口	人	121,379	122,830	122,441	122,771
イ 霧島市内の市道	市内の市道延長	km	1,638	1,643	1,643	1,648
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア 安全に通行できる	対応率(改修済延長/改修計画延長)	%	59	77	77	83
イ 良好な状態に保たれる	対応率(改修済延長/改修計画延長)	%	59	77	770	83
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)	47,706	25,813	29,300	令和7年度では、道路維持改良工事を4路線実施した。(国分地区1件、隼人地区1件、横川地区1件、福山地区1件)その他として分筆測量等2件を実施した。
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	11,708	0	
	地方債	0	0	
	その他	29,200	21,900	
	一般財源	6,798	3,913	

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>			
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報								
事務事業名 2062 ー 道路維持管理事業								
政策名 2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)				所属		建設施設管理課		
施策名 3. 快適生活の基盤づくりの推進								
基本事業名 2. 道路ネットワークの構築と道路施設の維持				予 算 科 目	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①市内の渋滞解消のため、国・県道整備に関する要望活動を行うほか、バイパス道路や地域拠点施設間のアクセス道路の整備を推進し、道路ネットワークの構築を図ります。 ②橋梁・トンネル等の個別施設ごとに策定する長寿命化計画等に基づき、予防保全対策や補修等を計画的に実施します。				款	08	土木費	
					項	02	道路橋梁費	
					目	01	道路橋梁維持費	
				事業期間		平成18年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		道路法(第16条)	
	①②国・県・市道の利用者		①円滑に移動できる ②安全に通行できる		関連計画		特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
霧島市全域の市道の維持管理のため、パトロールによる危険箇所の早期発見や清掃、および修繕・改修を行う事業							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	市道利用者及び周辺住民	人口	人	121,379	122,830	122,441	122,771
イ	霧島市内の市道	市内の市道延長	km	1,638	1,643	1,643	1,648
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	安全に通行できる	対応率(改修対象箇所数/改修が必要と判断された箇所数)	%	87	88	88	89
イ	良好な状態に保たれる	対応率(修繕対象箇所数/改修が必要と判断された箇所数)	%	87	88	88	89
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		335,701	338,797	337,071	道路補修・側溝修繕などを489件実施した。内訳は、国分地区270件・隼人地区69件・溝辺地区17件・横川地区20件・牧園地区49件・霧島地区37件・福山地区27件で、その中に、まちづくり計画による要望68件も含む。 また、高所木伐採を19件と草払い業務委託を840km実施した。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	335,701	338,797	337,071	

5. 振り返り<SEE (check) >			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名 2063 ー 橋梁長寿命化修繕事業							
政策名 2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		建設施設管理課		
施策名 3. 快適生活の基盤づくりの推進							
基本事業名 2. 道路ネットワークの構築と道路施設の維持			予 算 科 目	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①市内の渋滞解消のため、国・県整備に関する要望活動を行うほか、バイパス道路や地域拠点施設間のアクセス道路の整備を推進し、道路ネットワークの構築を図ります。 ②橋梁・トンネル等の個別施設ごとに策定する長寿命化計画等に基づき、予防保全対策や補修等を計画的に実施します。			款	08	土木費	
				項	02	道路橋梁費	
				目	01	道路橋梁維持費	
				事業期間			永年
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		
	①②国・県・市道の利用者		①円滑に移動できる ②安全に通行できる		関連計画 橋梁長寿化計画		

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
市で管理する全橋梁について、長寿命化修繕計画に基づく計画的かつ予防的管理を行い、橋梁の長寿命化を図るために専門業者による点検を行う。その結果により劣化・損傷が進み危険であると判断された橋梁に対し有効な補修工事を検討し工事することで橋梁の長寿命化を図る。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	市で管理する橋梁の利用者	市で管理する全橋梁数 (令和7年度公表値)	橋	682	682	682	682
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	5年毎に実施する橋梁点検で、施設の危険判定レベルⅢ以上の橋梁の改修を行う	対応率(補修完了橋梁数/危険度判定Ⅲ橋梁101)	橋	95	100	99	101
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果 令和7年度は、補修工事4橋、補修設計5橋を実施した。また、3巡目点検(123橋)を実施した。2巡目点検で早期措置段階(レベルⅢ)の判定を受けた102橋のうち、96橋について着手済みであり、88橋が措置完了となった。
事業費(千円)		329,587	264,498	206,000	
財源内訳	国庫支出金	181,271	145,473	110,000	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	99,100	78,300	96,000	
	一般財源	49,216	40,725	0	

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名 2064 ー 道路アダプト制度事業							
政策名 2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		建設施設管理課		
施策名 3. 快適生活の基盤づくりの推進							
基本事業名 2. 道路ネットワークの構築と道路施設の維持			予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①市内の渋滞解消のため、国・県整備に関する要望活動を行うほか、バイパス道路や地域拠点施設間のアクセス道路の整備を推進し、道路ネットワークの構築を図ります。 ②橋梁・トンネル等の個別施設ごとに策定する長寿命化計画等に基づき、予防保全対策や補修等を計画的に実施します。			算 科 目	款	08	土木費
					項	02	道路橋梁費
					目	01	道路橋梁維持費
				事業期間		平成24年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし
	①②国・県・市道の利用者		①円滑に移動できる ②安全に通行できる		関連計画		特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
道路アダプト制度実施要綱により、市民団体・事業者団体などを募集し、応募した団体が霧島市内の市道及び県道の主要幹線道路で延長400m以上の道路敷地を年2回以上の道路の草払いや清掃および道路の破損等の情報提供の活動をしていただき、その団体には活動支援金を交付する。また、アダプトの道路区域に、アダプトサイン(看板)の設置を行い道路の環境及び機能の維持向上を図る。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	市民団体及び事業者団体	市民団体及び事業者団体数	団体	87	88	87	87
イ	霧島市内の市道・県道の主要幹線道路	指定道路及び指定区間延長	Km	190	190	190	190
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	アダプト制度登録団体数を増やす	この事業により道路環境保全に取り組む市民団体・事業者団体数(累積)	団体	87	88	87	87
イ	草払い・清掃活動等が行われる	アダプトによる道路の草払い延長(累積)	Km	85	86	86	86
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果		
事業費(千円)		3,430	3,473	3,460	実績は、令和7年度で87団体による草払い・清掃実施延長が85Kmであった。 成果は、道路環境及び道路機能の維持向上が図られ、安全で快適に移動できるようになった。		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	3,400	3,400	3,400			
	一般財源	30	73	60			

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>			
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報							
事務事業名 2065 ー 道路施設防災安全対策事業							
政策名 2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		建設施設管理課		
施策名 3. 快適生活の基盤づくりの推進							
基本事業名 2. 道路ネットワークの構築と道路施設の維持			予 算 科 目	会計	01	一般会計	
基本事業の 内容 (総合計画より)	①市内の渋滞解消のため、国・県道整備に関する要望活動を行うほか、バイパス道路や地域拠点施設間のアクセス道路の整備を推進し、道路ネットワークの構築を図ります。 ②橋梁・トンネル等の個別施設ごとに策定する長寿命化計画等に基づき、予防保全対策や補修等を計画的に実施します。			款	08	土木費	
				項	02	道路橋梁費	
				目	01	道路橋梁維持費	
				事業期間			
基本事業の 対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		
	①②国・県・市道の利用者		①円滑に移動できる ②安全に通行できる		関連計画		

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
道路施設の計画的な修繕・更新による老朽化対策と、自然災害に対する事前防災・減災対策を行うことにより、地域道路網の安全性・信頼性を向上するとともに、地域の課題に応じた交通安全対策を多角的に実施することにより、安心安全な道路交通環境を構築する。 主な事業は、道路舗装及び道路法面の経年劣化による老朽化対策や、生活道路安全対策事業。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	市道利用者及び周辺住民	人口	人	121,379	122,830	122,441	122,771
イ	霧島市内の市道	市内の市道延長	km	1,638	1,643	1,643	1,648
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	安全に通行できる	対応率(改修済延長/改修計画延長)	%	44	46	46	47
イ	良好な状態に保たれる	対応率(改修済延長/改修計画延長)	%	44	46	46	47
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		135,693	150,000	125,000	令和7年度では、道路舗装工事を4路線実施した。(国分地区2件、隼人地区2件) 法面工事を1路線実施した。(隼人地区1件)
財源内訳	国庫支出金	18,049	20,000	12,500	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	89,800	98,800	90,000	
	その他	27,800	31,000	22,500	
	一般財源	44	200	0	

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名 2095 ― 公園管理事務事業							
政策名 2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		建設施設管理課		
施策名 3. 快適生活の基盤づくりの推進							
基本事業名 1. 良質な住環境の整備			予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①市営住宅等の長寿命化や土地区画整理事業による住環境の整備を進めるとともに、建築物の耐震化などの支援等を通じ、住環境の安全性向上に努めます。 ②利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、緑地の充実を図るとともに、地域住民と連携した維持管理を推進します。			算	款	08	土木費
				科	項	05	都市計画費
				目	目	04	公園費
				事業期間			
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		
	①市民		①安心して住宅に住めるようになる		関連計画		

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
天降川ふるさとの川河川公園、地域管理でない普通公園(宮の杜ふれあい公園・臨空団地1〜3号公園・下井地区運動公園・野久美田農村公園等)の管理について業務委託を行う。市内の公園にある施設の簡易な修繕を行うとともに地域等から要望のある普通公園の剪定・樹木の伐採や都市公園で指定管理者が行うことの出来ない修繕や樹木管理作業を専門業者に委託する。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	市民	人口	人	121,379	122,830	122,441	122,771
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	安心・安全・快適に利用できる	公園施設の修繕や樹木管理等の業務委託を行った箇所数	箇所	36	35	38	35
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		28,104	28,281	26,961	【公園管理事務事業実績】 ・天降川ふるさとの川河川公園管理業務委託 10,810千円 ・隼人等普通公園施設清掃業務委託 3,830千円 ・公園施設修繕 20件 6,998千円
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	8,359	7,182	5,400	
	地方債	0	0	0	
	その他	492	472	492	
	一般財源	19,253	20,627	21,069	

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名	2096 ー 都市公園管理事業						
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	建設施設管理課		
施策名	3. 快適生活の基盤づくりの推進						
基本事業名	1. 良質な住環境の整備			予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①市営住宅等の長寿命化や土地区画整理事業による住環境の整備を進めるとともに、建築物の耐震化などの支援等を通じ、住環境の安全性向上に努めます。 ②利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、緑地の充実を図るとともに、地域住民と連携した維持管理を推進します。			算	款	08	土木費
				科	項	05	都市計画費
				目	目	04	公園費
				事業期間		平成17年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	都市公園法、霧島市都市公園条例	
	①市民		①安心して住宅に住めるようになる		関連計画	霧島市公園施設長寿命化計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
市内の都市公園(城山公園、丸岡公園を除く)について、指定管理者による運営・管理を行う。 ※国分都市公園指定管理(19公園) 指定管理者:一般財団法人霧島市施設管理公社 指定期間:令和7年4月1日～令和12年3月31日 ※隼人等都市公園指定管理(35公園) 指定管理者:公益社団法人霧島市シルバー人材センター 指定期間:令和3年4月1日～令和8年3月31日 ※麓2号公園、麓4号公園 指定管理者:公益社団法人霧島市シルバー人材センター 指定期間:令和3年8月1日～令和8年3月31日							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	市民	人口	人	121,379	122,830	122,441	122,771
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	安心・安全・快適に利用できる	なし(利用の状況から利用者数の把握やアンケート実施が困難。)		0	0	0	0
イ		なし(利用の状況から利用者数の把握が困難(自由使用)。)		0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		42,602	54,604	53,025	【指定管理実績】 ・国分都市公園指定管理 30,176,400円 ・隼人等都市公園指定管理 20,795,500円 ・麓2号公園及び麓4号公園指定管理 497,000円
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	42,602	54,604	53,025	

5. 振り返り<SEE (check) >			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報								
事務事業名 2097 ー 城山公園管理事業								
政策名 2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		建設施設管理課			
施策名 3. 快適生活の基盤づくりの推進								
基本事業名 1. 良質な住環境の整備			予	会計	01	一般会計		
基本事業の内容 (総合計画より)	①市営住宅等の長寿命化や土地区画整理事業による住環境の整備を進めるとともに、建築物の耐震化などの支援等を通じ、住環境の安全性向上に努めます。 ②利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、緑地の充実を図るとともに、地域住民と連携した維持管理を推進します。			算 科 目	款	08	土木費	
					項	05	都市計画費	
					目	04	公園費	
					事業期間			平成17年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		都市公園法及び霧島市都市公園条例	
	①市民		①安心して住宅に住めるようになる				霧島市公園施設長寿命化計画	
関連計画								

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
城山公園(国分)は、昭和53年に開園した総合公園で、敷地面積は15万8594㎡。 展望台(6階建)、レストハウス、観覧車、ゴーカート場(全長1300m)、電動カー乗り場、バターゴルフ場、児童広場、芝生広場、SL展示、駐車場(268台)などの施設がある。 【指定管理者】公益社団法人霧島市シルバー人材センター 指定期間: 令和7年4月1日～令和12年3月31日							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	市民	人口	人	121,379	122,830	122,441	122,771
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	安心・安全・快適に利用できる	利用者アンケートによる「期待以上だった」「期待通りだった」「まあまあだった」の割合	%	98	98	98	98
イ	安心・安全・快適に利用できる	年間利用者数	人	119,953	126,000	159,839	160,000
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		19,680	25,825	26,651	【指定管理実績】 ・城山公園指定管理料 25,824,300円
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	19,680	25,825	26,651	

5. 振り返り<SEE (check) >			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>			
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報								
事務事業名		2098 ー 丸岡公園管理事業						
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		所属		建設施設管理課		
施策名		3. 快適生活の基盤づくりの推進						
基本事業名		1. 良質な住環境の整備		予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①市営住宅等の長寿命化や土地区画整理事業による住環境の整備を進めるとともに、建築物の耐震化などの支援等を通じ、住環境の安全性向上に努めます。 ②利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、緑地の充実を図るとともに、地域住民と連携した維持管理を推進します。		算	科	款	08	土木費	
					項	05	都市計画費	
					目	04	公園費	
					事業期間			平成17年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		都市公園法及び霧島市都市公園条例	
	①市民		①安心して住宅に住めるようになる				霧島市公園施設長寿命化計画	
関連計画								

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
丸岡公園(横川)は、昭和43年に開園した総合公園で、敷地面積は27万2000㎡。 緑地公園、多目的広場、日本庭園、ゴーカート場(1618m)、スロープカー、遊具、レストラン等の施設がある。また、公園施設の他に園内には、農業交流センターやバンガローを併設している。 【指定管理者】きりしまPPP株式会社 指定期間: 令和4年4月1日～令和9年3月31日							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	市民	人口	人	121,379	122,830	122,441	122,771
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	安心・安全・快適に利用できる	利用者アンケートによる「期待以上だった」「期待通りだった」「まあまあだった」の割合	%	86	95	95	95
イ	安心・安全・快適に利用できる	年間利用者数	人	32,765	59,000	107,990	108,000
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果		
事業費(千円)		18,613	23,945	16,496	【指定管理実績】 ・丸岡公園指定管理料 21,783,654円		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	18,613	23,945	16,496			

5. 振り返り<SEE (check)>				
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか		結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か		実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか		影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか		向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか		削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか		削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか		公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>			
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報									
事務事業名		2099 ― 公園改修事業							
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		建設施設管理課		
施策名		3. 快適生活の基盤づくりの推進							
基本事業名		1. 良質な住環境の整備			予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)		①市営住宅等の長寿化や土地区画整理事業による住環境の整備を進めるとともに、建築物の耐震化などの支援等を通じ、住環境の安全性向上に努めます。 ②利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、緑地の充実を図るとともに、地域住民と連携した維持管理を推進します。			算 科	款	08	土木費	
						項	05	都市計画費	
						目	04	公園費	
					事業期間				
基本事業の対象・意図		対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等			
		①市民		①安心して住宅に住めるようになる					
		関連計画							
2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>									
老朽化の進む公園施設の改修や更新、又は新設により、利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、公園の魅力度の向上を図る。									
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)	
ア	市民	人口		人	121,379	122,830	122,441	122,771	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)	
ア	利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進める	更新又は新設した公園施設数		基	11	4	12	1	
イ					0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果				
事業費(千円)		275,271	132,726	41,600	【遊具設置・更新等】 ・複合遊具等更新 城山公園 7基 正覚寺公園 2基 町後公園 2基 【丸岡公園整備】 ・ゴーカート車庫兼発着所改築 1箇所				
財源内訳	国庫支出金	35,000	21,460	19,800					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	152,900	107,000	19,800					
	その他	56,100	0	0					
	一般財源	31,271	4,266	2,000					
5. 振り返り<SEE (check)>									
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか					結びついている		
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か					実施すべき又は実施しなければならない事業		
	③	廃止・休止の影響はあるか					影響がある		
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか					向上する余地はある		
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか					***		
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか					***		
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか					***		
6. 評価結果<(Action-PLAN)>									
(1) 今後の事務事業の方向性				(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)					
① 事業(成果)の方向性		↑ 拡充	丸岡公園は、昭和43年の開園から55年以上が経過し、施設の老朽化が進行している。そのため、計画的な更新や機能拡充を行い、来園者の安全・安心な利用環境の確保と魅力向上を図る。 また、老朽化が進む公園遊具については、引き続き国の補助事業を活用しながら計画的な更新に努める。						
② コスト(予算)の方向性		↑ 拡充							